



普及だより

～受賞おめでとうございます～

大高根農場記念山形県農業賞

株式会社高橋フルーツランド (上山市)

上山市を拠点に観光果樹園と農家カフェを展開し、県内外から人を呼び込むとともに、カフェの多店舗展開により地域の雇用を創出し、地域活性化に寄与されました。おいしい果物を提供できるよう自家製堆肥を使用した土づくりにこだわって取り組まれています。また、SNSを積極的に活用して県内外へ果物の魅力を発信し、山形の果物の認知度向上に貢献されました。



山形県ベストアグリ賞

蔵王花卉生産組合(JAやまがた南部営農センター花き部会)

蔵王花卉生産組合(組合長 稲毛昇氏)は、発足してから約50年、主に上山市中川地区の花きの生産者約30名からなる組織です。地の利を生かし、きく、トルコギキョウ、ストック、りんどう、「啓翁桜」他の多数の品目を栽培し、販売金額は1億円を超えるなど県内有数の産地を形成しています。また、当組合で生産された花は「蔵王の花」として、全国各地に出荷しています。



やまがたフラワーフェスティバル2023 金賞・山形県知事賞

齋藤道成氏 (上山市 蔵王花卉生産組合)

昨夏は猛暑で栽培管理が難しかったようですが、高品質なトルコギキョウを生産し、3年連続で金賞を受賞されました。今年も昨年同様暑いと言われてるので、気候に左右されない生産技術を学び、より良いトルコギキョウを出荷できるよう栽培に取り組むこととしています。




第4回山形のうまいもの「ファインフードコンテスト」 果実加工品部門最優秀賞

のら農園 酒井正樹氏 (上山市)

「のら農園のドライフルーツチョコレート」は、上山市産のフルーツ本来の甘みとチョコレートの甘みがダブルで楽しめる商品です。また、目を引くパッケージデザインも高く評価され、果実加工品部門最優秀賞を受賞しました。



やまがたGAP取組組織：株式会社山形産直センター



「やまがたGAP」
第三者認証制度に
取り組んでみませんか。

当管内では4団体が「やまがたGAP(農業生産工程管理)」の第三者認証を受けて、農業生産の改善に取り組んでいます。当課では、申請時の支援をしていますので、お気軽にご相談ください。

「むらやま米フォーラム2024」 の開催について

山形おいしさ極める!米づくりプロジェクト村山地域本部では、昨年の猛暑による高温障害の発生状況や高温に対応した米づくりの理解を深め、令和6年産米の高品質・良食味米生産を目的として、研修会を開催します。

◆日時 令和6年2月6日(火)



午後1時～3時30分(予定)

◆場所 山形国際交流プラザ

「山形ビッグウイング」大会議室

◆内容 基調講演および「つや姫」栽培講習会等

問合せ 電話:023-621-8294

今冬は暖冬傾向! 令和6年産に向けた準備は万全に!!

(1) 今年のさくらんぼの摘芽は要注意!!

昨年は早期落葉が多くみられ、夏季も記録的な高温でした。そのため、今年は凍害による「雌しべの枯死」や「双子果の多発」が心配です。摘芽の前に芽の状況を確認するとともに、被害が大きいとみられる場合は例年よりも芽数を多く残すか、摘果で対応しましょう。



(2) 凍霜害防止対策

今年は暖冬予報で、果樹の生育も早まることが想定されます。遅くとも3月下旬までには防霜対策の準備をし、対策の際には低温アラートを御活用ください。

- ・東南村山管内の全市町に小型気象観測装置を設置
- ・観測地点ごとに、
 - ①現在の気温の確認が可能
 - ②設定した気温になるとメールが届く
- ・利用は「やまがたアグリネット」で、会員登録(無料)を実施
- ・運用は3月下旬から開始予定



(3) 雪害防止対策

暖冬予報ですが、ドカ雪による雪害にも注意が必要です。雪害防止に向けて早めの対策を行いましょう。

詳しくは

NOSAIからの情報

近年多発する異常気象に備えて、果樹共済への加入をお勧めしています。また、園芸施設共済は、小さな損害でも補償対象とする特約や、よりワイドな補償の選択が可能となりました。この機会にぜひご加入下さい。

詳しくは、山形県農業共済組合本所園芸部

TEL 023-656-8978までご連絡下さい。



<https://agrin.jp/>

農業に関する技術情報発信や、低温等の警報をメールで配信しています。



やまがたアグリネット

魅力ある農業経営を目指して

新規就農者ステップアップ塾

管内の新規就農者を対象に、作物、果樹、野菜、花き、農業経営、農産加工の6分野毎、実践的な技術の集中講座を実施し、就農後の農業技術の習得と経営感覚の醸成を支援しています。



新規就農者ステップアップ塾の様子

今年(令和6年)の干支は辰(龍)です。龍のように、経営企画主幹 堀由紀子

新年、明けましておめでとうございます。今年(令和6年)の干支は辰(龍)です。辰年は、龍が現れたいと願うことが起る年と言われています。

昨年は、春の霜害や、夏の記録的な高温・少雨等、多くの農作物等で影響が見られました。被害を受けた方々に、お見舞い申し上げます。

一方で、昨年の明るい話題として、本県の令和5年度の新規就農者は三七八人で過去最多、東北でも八年連続で一位でした。当地域でも前年を上回り、多数の方が新たに就農されました。さらに、『東北農林専門職大が本年四月の開学に向け認可され、本県の農業を担う若い優れた農業者の育成が期待されます。』

さくらんぼ「やまがた紅王」の本格デビューを機に、天童市では「紅王研究会」が発足し、産地化に向けた取組みが始まりました。

農業技術普及課では、新たな担い手の支援や産地化の取組みに加え、新たに「デジタル経営塾」を開講し、営農管理ツールを活用したスマート農業の普及と経営の効率化に取り組んでまいります。



令和5年度の普及活動

作物 気候変動に負けない! 米づくりの推進

令和5年の水稲は、8月、9月の記録的な高温や少雨の影響を受け、品質低下が見られました。今年は、どのような天候にも負けない栽培管理を徹底し、高品質・良食味米の安定生産を支援していきます。



育苗巡回

野菜 環境データを用いたきゅうり学習会の開催

管内では大規模園芸団地の整備により、新たなきゅうり生産者が増加しています。当課では環境データや栽培管理等の情報を交換し相互研鑽を図る学習会をはじめ、新規生産者の技術向上に向けた取組みを進めています。



学習会(スタディクラブ)

果樹 気候変動に対応した高品質安定生産の推進

昨年は、春先の凍霜害、夏季の記録的な高温少雨など気候変動の影響が大きい1年でした。低温アラートを活用した凍霜害対策の徹底や、高温でも着色しやすい「やまがた紅王」の産地化など、果樹全般の高品質安定生産を推進します。



さくらんぼ結実確保対策キャラバン出発式

花き 露地花き品目の生産性向上による産地強化

昨年は、ダリアの枯死株対策および、アジサイのホコリダニ類防除の推進などに取り組みました。令和6年は、引き続きこれらの課題に取り組むとともに、生産者の高齢化がすすんでいることから、若手生産者の育成等新たな担い手を確保し、さらなるダリアの産地強化を図ります。



ダリア部会の園地巡回

畜産 耕畜連携による地域内飼料作物生産支援

天童市では、地域内耕畜連携による子実とうもろこし生産・利用の取組みが始まっています。子実とうもろこしは、省力管理等が可能な作物と言われており、耕種・畜産双方にメリットのある作物として注目されています。当課では、今後も拡大に向けて支援していきます。



収穫直前の子実とうもろこし



収穫作業機械展示・実演会

経営・担い手 魅力ある農業経営を目指して



先進農業法人の視察研修

“魅力ある農業”の実践に向けて、当課では研修会の開催や専門家の派遣、事業計画作成のサポートを行い、新規就農や法人化、雇用導入等さらなる経営発展を目指す取組みを支援しています。

農村資源活用 商品力の高い農産加工品の開発

農産加工のスキルアップに向け、異物混入防止対策に関する研修会を開催しました。研修では、整理・整頓による不要品の処分と、毛髪混入防止のための作業衣の着用と粘着ローラー掛けの重要性について学びました。日頃の衛生管理を見直し、異物混入を防止しましょう。



むらやま農産加工技術研修会

村山産地研究室 ミニセルリー「若竹」の安定生産技術を開発中

村山産地研究室では、令和4年度までに、ミニセルリー「若竹」の灌水、施肥、栽植様式による高品質多収技術を開発しました。令和5年度からは、春どり作型の抽苔抑制技術、活着の良い苗の省力育苗技術、定植後の根張り改善による増収技術の開発に取り組んでいます。



生産者との意見交換

「東南村山デジタル経営塾」開講

当課では11月17日に外部講師を招いて、第1回東南村山デジタル経営塾を開講しました(受講生16名)。令和6年2月まで5回の研修を通して、デジタル営農管理ツールの理解を深め、各自の経営課題の自己解決の方法とプロセスについて学んでいただきます。



燃油価格高騰対策

今冬も燃油価格高騰が続いています。冬季にビニールハウス等の施設で作物を栽培する場合は、省エネルギー対策を実施し、コスト低減に努めましょう。

詳しくは

山形県施設園芸省エネルギー化技術指針 [検索](#)

また、県では、営農する園芸用施設の加温のため、冬季間燃油を使用する施設園芸農業者に対して、A重油及び灯油の購入にかかる費用の一部を支援します。

問合せ先

山形県農林水産部園芸大園推進課
野菜花き振興担当 TEL 630-2282

令和5年の特徴的な天候

- 3月下旬～4月下旬(霜害)**
果樹に影響
～雌しべの枯死、結実不良等～
- 5月**
大きい寒暖の変動
- 6月中旬～7月中旬(梅雨)**
定期的な大雨
(6/16、28、7/8、19)
- 7月下旬～9月(記録的な高温、少雨)**
多くの作物に影響
～水稲の品質低下、野菜・花きの生育遅延、果実の着色不良等～
- 10月(強風)**
～果実の落下被害等～

活動紹介

東南村山農業士会

「農業士」は、県から認定され、農業の先導的、指導的役割を担っている方々です。東南村山農業士会(会員47名)では、地域農業の振興と農業青年の育成に向けて、研修会や食育活動、研修生の受入れ、新規就農者への助言等を行っています。



新規就農者相談・交流研修会(2月)

山形4Hクラブ

管内の若手農業者で組織する当会では、会員圃場や先進経営体への視察、直売活動などを通じて、技術向上や消費者・他地域生産者との交流を図っています。11月の東北農村青年会議では、会員が県代表として農業への思いや方針について発表し優秀賞を受賞しました。



東北農村青年会議若手大会に参加

農薬は適正に使用しましょう!

- ★農薬のラベルは必ずよく読み、定められた使用方法で!
- ★生産の履歴の記帳、農薬飛散の防止、防除器具の洗浄を徹底!

農作業事故防止

- ★作業を中断するときは必ずエンジン停止
- ★高所(雨よけハウスの除雪、脚立を使った剪定等)では、無理な体勢で作業しない
- ★作業は複数人で行い、作業の合間にしっかり休憩を